



農・食・体験・観光・経済を 繋ぐ学び舎『秋津野ガルデン』

金丸弘美
食総合プロデューサー

和歌山県田辺市に、ここ10年毎年通っている。

理由は、長男の金丸知弘・りさ夫妻が東京・有楽町の『NPOふるさと回帰支援センター』のセミナーを契機に2016年田辺市龍神村へ移住したからだ。その同じ年に田辺市が富山大学（現在は熊本大学）と金融機関と事業社などが連携した若い人の事業支援『たなべ未来創造塾』が開校。20代から45歳までの地域の新たな仕事を形にしたい人を対象に8か月かけて14回の講義・ディスカッションを経て事業プランをプレゼンテーションするというもの。そして将来のビジネスに繋ぐというものだ。塾生は今期は16名（これまで最大13名・基本は12名）が公募から参加。異業種の若者を選抜し、そこから新たな仲間ができるという優れた取り組みだ。

『たなべ未来創造塾』は、これまで9期108名の修了生から、75件の新規ビジネスと、30件の第2創業が生まれて大きな注目となっている。

塾が開校したとき知弘は1期生になった。そのこともあり塾の取り組みを紹介したことから、毎年修了式に参加させていただくようになり、2026年2月14日開催の10期生修了式にもうかがった。おかげで田辺市に知り合いがたくさんできることとなった。

田辺市で10年以上前からおつきあいがあるの



『秋津野ガルデン』。学校の佇まいは風情があり庭で食事もできることから多くの観光客や地元の人たちが訪れる

が多田稔子さん。『一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー』の会長で、個人海外客を誘致する優れた取り組みで、トップモデルとなっているところだ。それに『秋津野ガルデン』の木村則夫さん。ここは1953年建築の木造の小学校を住民の力で再生させて、新たに農家レストラン、カフェ、宿泊施設、体験教室、特産のミカンの歴史を学べる教室などとしてリノベーションしたところ。多くの観光客が訪れている。

この施設のすぐ近くに農産物直売所『きてら』があり、連携して運営されている。ここには、さ

いただいたレストランの料理。
地域の新鮮な食材が使われ味わいが実に豊かな



まざまなみかん、梅、みかんジュースなどが販売されている。『きてら』からは、毎年、柑橘の詰め合わせセットが届く。みかん、レモン、マーマレード、ジュースなど。みかんも、いくつか種類があつて、食べ比べでできるようになっている。美しい輝く玉手箱のよう。栽培されているみかんは80種類以上もあるという。

そんなこともあり、今回も『秋津野ガルテン』と『きてら』寄らせていただいた。連絡をすると木村さんが待つていてくださった。場所はJR田辺駅から車で10分ほどの山麓にある。学校の前は、木で囲まれ、庭には、食事ができるテラスがあり、外で食事をする人たちも多くいる。学校の入口に事務所があり、その隣には、カフェとスイーツの工房がある。教室は、ジュースやスイーツなどを創る、お菓子体験工房『バレンシア畑』、視察や学校と連携した授業教室、みかんの歴史や品種を学ぶ教室など、学校が、地域全体を学ぶ優れた場になっている。

1階には、農家レストラン『みかん畑』があり、地元の女性陣による、ブッフエレストランが運営されている。地元食材がふんだんに使われた料理が並ぶ。そこから好きな料理をとって食べる。筑前煮、

切干し大根の煮物、かぼちゃの煮物、高菜の煮物、肉豆腐、ナスの揚げびたし。ご飯は、大葉ご飯、タケノコご飯、サツマイモご飯、梅紫蘇ごはん（紀州南高梅使用）。デザートは、大学芋、柑橘（ポンカン）、柑橘（極早生温州）など。30種類以上が並ぶ。目移りがする。どれも素材の持ち味を生かしたもののばかり。素朴で味わい豊かな。

学校には併設して個室タイプの宿泊施設もある。和室・洋室合わせて宿泊可能。熊野古道に近い立地から、欧米豪のインバウンド客が多いのも特徴だ。そして、ここを拠点に、みかん狩り、梅収穫、芋の収穫、野菜収穫などをはじめ、農家に行き農業の作業も学ぶ体験教室も開催されている。市民農園も運営されている。

さらに、学校の外には、サテライトオフィス機能施設も加わった。4つの区画に3社が入居し、ウェブ系、セキュリティ系、開発系などICT関連の小規模事業者が入っている。白浜周辺でテレワーク拠点の動きがある中、「農家のところで体験できないか」という需要も含め、農とITの接点を育てたいという狙いから作られたのだという。全国の人口減のなか2004年から2023年度に廃校した学校は8850校。毎年450校が廃校になっている。施設が現存しているのは7612校。このうち5661校（74.4%）が社会教育施設や社会体育施設等の公共施設のほか、体験交流施設や福祉施設など様々な用途で活用されている。そのなかで『秋津野ガルテン』は、もともと学校利用の先端として注目され、全国から視察も訪れている。

改めて、『秋津野ガルテン』を訪ねたら、この10年で、地域全体の景観・農業・食・観光・経済、そして人と学びが見事に連携し醸成されてきたのだと感銘を受けたのだった。